

問題 正 解

解 説

1	A	「geo(ジオ)」は「大地」や「地球」を意味します。「park(パーク)」は公園のことで、「ジオパーク」は「大地の公園」ということになります。
2	B	日本国内のジオパークは、世界ジオパークに認定されている7か所を含めて全部で36ヶ所あります。Aの「18」は、日本国内にある世界遺産の登録数(文化遺産:14、自然遺産:4)です。
3	A	世界ジオパークネットワークは、2004年ユネスコ(国連教育科学文化機関)の支援により設立されました。ユニセフは世界中の子どもたちの命と健康を守るために活動する国連機関、WHO(世界保健機関)は「全ての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」を目的として設立された国連の専門機関です。また、NASAは「アメリカ航空宇宙局」のことです。
4	A	世界地図で見比べてみましょう。シンガポールは北緯1度のあたりで、かなり赤道に近いところにあります。シドニーはオーストラリアなので南半球です。台湾にある台北は北緯25度あたりで、沖縄本島より少し南になります。
5	A	雪との生活のはじまりは、およそ8000年前に遡るとされます。日本有数の多雪地帯であり、雪は大切な水資源です。雪国という特色のなかで生活を営んできた、雪の降る、ふるさとのです。
6	B	日本で初めて世界ジオパークに認定されたのは、「洞爺湖有珠山」、「糸魚川」、「島原」の3地域で、2009年の8月に認定されました。(2013年9月、再認定)
7	B	正解はBの「2,145m」。1,495mは栄村屋敷にある布岩山、2,037mは鳥甲山、2,454mは新潟県妙高山の、標高です。
8	A	苗場山麓ジオパークの河岸段丘で、最も古いのは谷上面)です。最も高い位置にある段丘面であり、信濃川の河床とは、およそ450mの高度差があります。谷上面の次に、米原Ⅰ面、米原Ⅱ面、卯ノ木面、朴ノ木坂面、貝坂面、正面面、本ノ木面、大割野Ⅰ面、大割野Ⅱ面とつくられていったとされます。
9	B	昭和20年2月12日に記録した積雪量で、これはJR(旧国鉄)の駅で観測した積雪量としては国内最高です。標柱は、平成23年3月12日の長野県北部地震の際に傾き、地震のことを忘れないように現在もそのままの状態となっています。
10	C	鳥甲山は3回の火山活動の時期があったといえます。第Ⅰ期には火山碎屑流の流出、第Ⅱ期はカルデラの形成と溶岩ドームの形成、第Ⅲ期には溶岩の噴出による鳥甲火山の本体が形成されました。
11	C	長野県まで(千曲川)が214km、新潟県から(信濃川)が153kmで、合わせて367kmになります。河川法では、昭和40年3月に一級河川の指定が行われ、その際「信濃川(千曲川を含む。)」とされたので、千曲川は信濃川に含まれ、日本で一番長い川は信濃川となっています。
12	C	鈴木牧之は江戸時代後期の越後塩沢の商人です。江戸の文人たちとの交流があり、自らも俳諧や書画をたしなみました。「秋山記行」は、文政11年(1828)に秋山郷を探訪した紀行文で、十返舎一九の勧めで書かれました。十返舎一九(代表作:「東海道中膝栗毛」など)と曲亭馬琴(代表作:「南総里見八犬伝」など)はともに牧之と交流のあった文筆家です。
13	B	結東層ができたのは1800万年前から1500万年前の、日本海ができ始めたころのことです。新潟県の大部分は海の底になっていました。フォッサマグナは海峡ようになっていました。同時に、海底では火山活動が活発に起こり、火山灰や火砕岩、溶岩などが厚く積もり、グリーンタフと呼ばれる緑色の岩石になりました。
14	C	日本は世界有数の火山国であり、火山噴火予知連絡会による定義では「概ね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」を活火山とし、その数は110あります。そのうち47の火山が「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要がある火山」として24時間体制で監視されています。苗場山や鳥甲山は活火山に含まれませんが、火山活動の痕跡は観察できます。
15	B	龍ヶ窪の水は、苗場溶岩の大地にしみ込んだ水が、毎分18～30トン湧き出しています。一日で池の水がそっくり入れ替わるほどの豊富な水量を誇ります。この区域は、新潟県の自然環境保全地域、鳥獣保護区に指定されています。
16	A	阿蘇山では、約30万年前から9万年前までに大規模な噴火が4回あり、その4回目の噴火がAso-4です。非常に大規模なカルデラ噴火で、その火山灰は偏西風に乗って日本列島全域に広がりました。

17	B	SK030と呼ばれる火山灰に含まれている堇青石は、青紫色で透明感のある鉱物です。角度によって違う色に見える、多色性があります。
18	B	昭和41年、中津川の川岸で中学生3人によって発見されたのが、古型マンモスの臼歯化石です。この化石は、津南町の指定文化財となっています。
19	B	苗場山は大きく4回の噴火時期が知られていますが、石落しの柱状節理はそのうちの2回目(第Ⅱ期)の活動期の溶岩です。
20	B	苗場山の山頂にはおよそ700haの湿原が広がっています。小松原湿原も含む、苗場山周辺湿原は、環境省による「日本の重要湿地500」のひとつに選ばれています。
21	B	七ツ釜にある滝つぼは、一番滝、二番滝、三番滝、ゆり釜、手洗釜、赤淵、長淵の七つ。岨滝(総滝)というのは、信濃川唯一の大滝であったといわれる滝の名前です。巨石が多く、急流であり、船の難所だったそうですが、多くの鮭がとれたといえます。
22	C	野々海池の位置する場所は標高1,020mです。農業用の貯水池としても重要な池となっています。
23	A	魚沼層群は、洪積世前期をつうじて堆積した、当時としてはきわめて大規模な地層であり、当地域の河岸段丘の基盤となっています。
24	C	大地の隆起と河川の浸食・運搬などの働きによって段丘上の地形が作りあげられました。苗場山から流れ出た溶岩が高位の段丘をおおいました。そして氷河期と間氷期の川の水量の変化(浸食力の変化)と信濃川流域で起きる隆起により、高低差のある崖、河岸段丘ができたのです。
25	C	池塘とは、高山湿地や泥炭地(泥状の炭が堆積した湿地)にできる池沼のことです。くぼんだ場所に水がたまり、池のようになったと考えられます。たくさん池塘は水田のように見えるため、「神の苗代田」と呼ばれ、「苗場山」の名前になったとも言われています。
26	A	切明では、川原を掘ると温泉が湧き出てきます。周辺の宿泊施設にももちろん温泉を引いた風呂がありますが、スコップを借りて川原で自分だけの野天風呂(屋根も四方の壁もない風呂)をつくることもできます。
27	B	57あるジオサイトのうち、七ツ釜、蛇淵の滝、大瀬の滝、勘五郎の滝、切明西方の滝、夫婦滝、雑魚川の大滝の7ヶ所が滝です。七ツ釜はかつて土砂災害で滝全体が崩落してしまいましたが、擬岩による砂防ダムとして、以前の姿に近い形で復元されているので滝とします。ですが、もちろん、これらの場所では滝を見ることができないわけではありません。ジオサイトとして紹介してはいませんが、見玉不動尊の境内にある7段の滝も人気のスポットです。
28	A	写真は布岩山です。鳥甲牧場は周辺に五宝木湖成層という、湖で堆積した地層が分布しており、かつては湖であったであろうと考えられます。矢櫃村は天明の飢饉で廃村となり、現在は供養塔がたっています。
29	B	地すべりは、比較的緩い傾きの斜面が広い範囲に渡ってすべり落ちていく現象で、地面が塊のまま動きます。場所によって条件は異なりますが、水を通しやすい地層が、その下の水を通しづらい地層との間に入り込んだ水によって下にすべって行くことで発生すると考えられます。
30	D	天代の露頭で観察されるのは、約43万年前から現代までの地層の積み重なりです。ひとつの場所で約43万年前から現代にいたるまでの地層を観察でき、東日本では珍しいといわれています。
31	D	成層火山は、ある程度粘り気のあるマグマを有する火山です。ほぼ同一の火口からの噴火を繰り返し、粘り気の強いマグマだとおわんを伏せたような形になり、それより粘り気が弱いと火山灰などと溶岩が交互に積み重なって円錐状になります。もっと粘り気の弱いマグマだと、溶岩が流れやすいためうすく広がり、平らに近い玄武岩質の山をつくり、これを楯状火山と分類します。
32	B	小赤沢にあるユモトマユミ(ニシキギ科)は樹齢は200年以上と推定され、この種としてはまれな巨木です。生活道具の材料として使われる木材であるため、ある程度の大きさになると伐採されるためです。
33	C	モリアオガエルは、樹上生活をする緑色のカエルです。水面の上にある木の枝などに泡につつまれた卵を産み、その中で孵ったオタマジャクシは水の中に落ちて、水中生活が始まります。食性は肉食で昆虫を食べ、繁殖期になるとメスへの求愛をするオスの鳴き声が聞こえます。

34	D	風穴では冷涼な空気が地中から流れてきます。津南町・栄村の風穴は堆積した溶岩塊のすき間から流れ出していて、風穴地では周辺とは違った植生を見ることができます。 エゾヒヨウタンボク、エゾスグリ、アサノハカエデは風穴で見ることのできる植物です。
35	D	文豪・吉川英治は逆巻温泉川津屋に滞在し、「新・平家物語」の構想を練りました。川津屋の館内には、部屋の障子にしたためられた吉川英治の書を額装して飾ってあります。
36	A	景観を1つの視点として、自らの地域を見つめなおし、視覚的な美しさだけではなく、農村としての美しさ、快適さを発掘し、全国的に広報普及し、農村地域の活性化に資することを目的として、農林水産省が平成3年に実施したものです。
37	C	母屋がL字型に突き出した部分を「中門」といい、その突き出した部分に馬屋と便所を設け、その先端に主要出入口を設けている点に間取り上の特色があるのが中門造りです。この形式の民家は、日本海側の多雪地帯に発達したもので、長野県では栄村を中心に分布が見られます。
38	C	堂平遺跡から出土した火焰型土器を町が無償で貸与し、2012年7月から大英博物館で常設展示されています。最大で10年間展示されるそうです。
39	A	常慶院は曹洞宗の寺院であり、奥信越第一の名刹といわれます。箕作にあることから、別名を「みつくり大寺」といいます。。開基は応永5年(1398)と伝えられ、仁王門、山門を構えた大伽藍があります。
40	C	林野庁選定の、森の巨人たち百選のひとつである「見倉の大栃」は、幹周がおおよそ8.5mあり、新潟県で最大といわれるトチノキです。
41	C	赤倉山は赤い岩山であることを意味し、鈴木牧之は烏甲山について「赤倉山」として書き記しています。
42	C	千曲川(信濃川)での通船を行うため、川の中や周辺の大きな岩を砕く必要がありました。楔を打ち、岩を砕いていたのだと考えられます。
43	B	カモシカには、アオジシやクラシシなどの別名があります。古くは、肉のことをシシと呼んだそうで、食用の肉がとれる動物であったことがわかります。
44	B	ニホンカモシカが国の特別天然記念物に指定されたのは、1955年(昭和30年)です。日本の固有種であり、1934年(昭和9年)には学術的価値が認められて天然記念物に指定されました。しかし密猟により頭数が減るなどしたため、1955年(昭和30年)に特別天然記念物に指定されました。
45	B	平成27年2月時点で、津南町の人口が10,423人、栄村の人口が2,100人で合わせて12,523人になります。
46	D	甘酒村が廃村となったのは天保の飢饉(1833～1839年)の際に住人が餓死したためといわれます。享保の飢饉(1732年)、天明の飢饉(1782～1787年)と合わせて、江戸三大飢饉と呼ばれます。
47	B	沖ノ原遺跡の調査が行われたのは、昭和47年から48年にかけてのことです。学術的に高い評価を得て、昭和53年には国の指定史跡に登録されました。
48	D	中津川沿いには、下流から、逆巻・結東・小赤沢・屋敷・和山・栃川高原・切明と温泉があります。田中温泉は信濃川沿いの温泉です。
49	B	日本の天台宗は、中国で天台教学を学んだ最澄によって、その帰国後に開かれた宗派です。最澄が中国に渡った際、同じ船団の別の船に空海(真言宗の開祖)が乗っていました。また延暦寺では、日蓮(日蓮宗の開祖)や親鸞(浄土真宗の開祖)も修業をしました。
50	A	畝形阻塞とは、掘った土を掻き上げてつくった、縦長の土塁状の防御施設です。畑の畝に似ているため、その名がつきました。敵の進路を制限して、一列で進攻することを強いるようになっています。今井城跡では、空堀や土塁なども確認できます。